

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスmoana		
○保護者評価実施期間	令和8年1月1日		令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和8年1月1日		令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。こどもは通所を楽しみにしていますか。	モアナでは自己選択をする機会を多く設定しています。未就学児～3年生頃までは、日常生活の中やアロハ、フィール、レクリエーションなど色々な場面で選択をしています。4年～6年生を中心に「子ども企画カリキュラム・お出かけ計画・職場体験・自己理解ノートの作成」などの実施を進めています。「自分はこうしたい」「自分はこうなりたい」という意志形成、意思決定をサポートしています。	未就学児～3年生までの低年齢の子の選択する環境を増やしていきたいと思います。様々な活動を通して引き続き「自己選択、自己決定」の機会を増やしていきたいと思います。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられているか。こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	一人ひとりに寄り添い、ニーズに合った支援を提供することができるよう職員で意見交換する場を大切にしています。また、毎日の支援や個別支援計画に基づく支援に活かすために日々の支援の内容や様子も細かく共有しています。個別で認知を深めたり練習を実施し、集団で実践、経験を積むなど環境を設定しています。子ども達からの希望も組み込みながら子ども達のスキル向上に向けて環境設定をしています。	利用者主体で強みを活かした支援を行うために、専門性を高めるための研修や勉強会に参加し、事業所内で積極的に意見交換の場を設けたいと思います。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	モアナでは月1～3回の頻度で地域の児童館さんと交流をしています。地域の子ども達と一緒に、制作や季節の遊びをしたり、児童遊園でにて外遊びを実施しています。また、地域のお祭りやスポーツフェスティバル、大学祭など積極的に参加しています。	来年度も継続して地域交流を実施し、子ども達が楽しいと思えるような経験を増やしていける様計画していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われているか。父母会、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	モアナ内でペアレントトレーニングは行っておりませんが、地域の療育支援センターと連携し、研修会や勉強会等の情報提供を行っております。必要に応じて参加を促し、保護者支援の機会につなげています。父母会に関しましては、毎年ナチュラルとして保護者会を開催しております。2事業所合同で行っています。	保護者会は継続していきますので、ご利用者の方にはご参加頂けるよう情報の周知徹底を行います。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	マニュアルに沿った避難訓練に継続して取り組んでいます。月に一度の訓練なので、利用頻度によっては実施が少ない子もいるかもしれません。	今後も訓練を継続的にいきます。訓練内容をカリキュラム表や連絡帳にて転記し、活動内容を報告させていただきます。HPで公開(年)
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもデイサービスmoana						公表日	令和8年3月17日				
						利用児童数	25人		回収数	25人		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	3			・その日の人数や内容にもよるかもしれないが少し狭いかなと感じる時がある。	・基準を満たしたプレイルームとなっておりますが、到着した時、帰りの準備（食事）に関しては、放デイプレイルームで行っております。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			3						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3			・本人は使い慣れていることもあって活動スペース（部屋）がなんの役割をしているか理解できている。 ・施設でトイレをお借りした時に見てすぐ分かるようにイラストに正しいオシッコの仕方が描かれていた。	・当事業所の方針として、一般の「家庭環境」で、利用者が獲得できるスキルに向かって支援を行っておりますので、他事業所のようなバリアフリー化は、必要最低限となっております。その中で、配慮が必要な利用者に関して個別対応と支援を行います。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1			・限られたスペースで活動の用途に合わせて変化していると思う。	・毎日清掃消毒を行っており、空気清浄機も設置しております。基準を満たしたプレイルームとなっておりますが、住宅型で支援を行っておりますので、体を大きく動かす ・走り回るなどの環境に適しておりません。体を大きく使った活動などは、公園・児童館などを使用して活動しております。				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				・そのための個別活動が割り当てられている。 ・個々の課題対してきめ細かい働きかけや訓練をしていただけていると思います。訓練おかげでうちの子は苦手な事が上手に出来るようになってきました。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25				・5領域に沿っていると思う。					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				・AIの意見も参考になるが、極端な回答になるため、やはり最後は人（職員）の目線で微妙な変化にも気付いてもらえていると感じる。	・スタッフ間で子ども達の見立てを一致させるために、AIを使ったアセスメントツールを使用しています。日々の様子などと合わせて個別支援計画を作成しています。				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24			1	・支援計画も事業所の特色も活かされていると思う。					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25				・意識して行っていると思う。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				・曜日固定で通っているが、1ヶ月通して見た時に全部の活動が参加できるようになっている。 ・色んなイベントや活動をして下さっています。					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21	1		3	・はじめはどの活動が値するのかわからなかったが、商業施設や公園などにも出向いて交流出来ていると思う。	月1～3回の頻度で地域の児童館さんと交流をしています。地域の子ども達と一緒に、制作や季節の遊びをしたり、児童遊園でにて外遊びを実施しています。また、地域のお祭りやスポーツフェスティバル、大学祭など積極的に参加しています。今後も引き続き活動を計画していきたいと思ます。				
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25					・現在でもご不明な点、不明瞭な点などございましたら、お手数ですが宮田までご連絡ください。迅速に対応致します。					
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25										

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24			1	・地域の児童発達支援センターの専門的知識からの支援に任せております。「定期的集まり、指導する事」が困難なことから、個別の相談が多いことから、個別に対応を行っておりますので、お気軽にご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25				・連絡帳や連絡アプリを通して伝達できている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	6		4	・年に一度、法人として保護者会を開催しております。2事業所合同で行っておりますので、来年度もご参加頂きますと嬉しいです。地域と連携し、保護者の皆様が交流が出来る機会を増やすことも検討しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25				・柔軟な対応をしてもらっている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25				・保護者だけでなく本人の意見も引き出してくれている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23			2	・マニュアルに従い、毎月1度訓練を行っており、年間に全員が受けられる様カリキュラムに設定しております。マニュアルにつきましては玄関にファイルを設置しておりますのでご自由にご閲覧の程をお願い致します。ホームページにも公開しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25				・送迎・外出・プール・食事などの安全を確保するため、安全計画【重大事故防止マニュアル】を策定しております。年1回の机上での研修とOJTにも含まれております。実務に関してはスタッフ全員で日々すり合わせを行い、マニュアルも更新しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23			2	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1			・学校よりデイに行きたがる様子から安心出来ているように思う。通所をとて楽しみにしており、心の安全基地のような存在です。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	1		・友達も出てより楽しみになっている。 ・いつも楽しいカリキュラムだけではなく社会適応訓練も行ってあります。苦手なスキルには、個別支援計画の策定と本人とのやり取りから、取り組めるよう促すことでもありますので、「いつも楽しい」ばかりではございません。環境に関しての配慮はできるだけ行っておりますが、ご要望があればご相談ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・ニーズばかりでなくしっかりデマンドされている。 ・いつもありがとうございます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こどもデイサービスmoana		公表日	令和8年3月17日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		人数に応じて、部屋を移動することもある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	構造化：特性に合わせて実施している必要なこと、できる事が実施している配慮できることは行っている	当事業所の方針として、一般の「家庭環境」で、利用者が獲得できるスキルに向かって支援を行っておりますので、他事業所の様なバリアフリー化は、必要最低限となっております。その中で、配慮が必要な利用者に関して個別対応と支援を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の清掃をお個々となっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		スタッフと一緒に別室移動	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		個別支援計画に関わること以外にも、困ったとき・悩んだときに話し合う機会つくっている。日々のミーティング	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々のミーティング内で取り入れている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		現在外部評価は行っておりませんが、法人事業所内部評価は行っております。過去の請求に関しても、再チェックを行っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページで掲載	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		面談前・作成前後の計3回以上の話し合いが行われている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		日々のミーティングを設け、活動内容について検討している	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子供たちが楽しいと思えるように最善を尽くしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		状況はもちろん、目標内容によって配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		月に一度に職員間で支援方法を確認している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択・意思形成など、意思決定支援に力を入れている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		月1回から3回のペースで実施 交流できるように内容も精査している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	連絡会に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		月に一度のモニタリングの中で、支援方法の振り返り、今後を話し合っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	ペアレントトレーニングは地域の児童発達支援センターの専門的知識からの支援に任せている。「定期的集まり、指導する事」が困難なことが大きな理由です。個別の相談が多いことから、個別に対応を行っている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		解らないものには、管理者に話を繋げている		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		内容によっては持ち帰り、他の職員に共有し、後日返答することもある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年1回保護者会	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		定期的に、地域で行われている行事にブースとして出展しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月に一度、それらの訓練を行い定期的に確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				